

第1学年 国語

第1学年の学習到達目標

- (1) 相手に応じ、経験した事などについて、事柄の順序を考えながら話すことや大事なことを落とさないように聞くことができるとともに、話し合おうとする態度を育てる。
- (2) 経験した事や想像した事などについて、順序が分かるように、語や文の続き方に注意して文や文章に書くことができるとともに、楽しんで表現しようとする態度を育てる。
- (3) 書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付きながら読むことができるとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる。

第1学年の主な学習内容

学期	単元名	学習のねらい	学習内容
前期	うれしいひ	絵を見ながら、場面の様子や想像したことを話す。	お話の展開を想像して楽しむ。 はっきりした発音で話す。
	はきはきあいさつ	あいさつの言葉を考えて、はっきりと話す。	あいさつの言葉を言う。
	おはなしききたいな	場面の様子や展開を想像しながらお話を聞いて、お話の楽しさを味わう。	お話の読み聞かせを聞く。
	あいうえおのうた あいうえお/じをかこう	絵と言葉を結びつけて正しく発音したり、言葉を平仮名で書いたりする。	言葉遊びの詩を楽しむ。 字形、運筆に注意し、平仮名を書く。
	あめですよ ふたとぶた	場面の様子を想像しながらお話を読んで、お話の楽しさを味わう。	場面の様子を想像しながら、お話を楽しんで読む。 濁音、半濁音の発音と表記
	わにがわになる ことばあそび	言葉遊びを楽しみ、語や文字についての関心を高め、語の読み書きに習熟する。	語や文のまとまりなどを考えながら、声に出して読む。
	はなしたいなききたいな ねことねっこ	自分のことを話しながら、正しく話すことに慣れる。	話を聞いて質問したり答えたりする。 促音・撥音の発音と表記
	あひるのあくび みんなであいうえお	言葉のリズムを楽しみながら詩を音読し、五十音表について理解する。	言葉の意味を考えながらはっきりと音読する。 五十音図
	てがみ	登場人物の気持ちを想像しながら物語を読む。	語のまとまりに注意しながら視写する。 きつねの子の気持ちを想像しながら音読する。
	てがみをかこう おばさんとおばあさん	自分の体験を簡単な文で書き、手紙を書くことの楽しさを感じ取る。	自分の体験を、複数の文で書く。 長音の表記の仕方とその例外
	どうぶつのはな いしやといしや	表現に注意しながら、書かれている事柄を正しく読み取る。	短い説明文を読む。 拗音・拗長音の発音や表記
	きてきて/よんでよんで/はへを	経験したことから題材を選び、友達や家族に話したり書いたりして知らせる。	みんなの前で感想や出来事を発表する。 助詞「は」「へ」「を」
	おおきなかぶ	お話のおもしろさを楽しんで読む。	場面の様子や人物の気持ちを想像しながら楽しんで読む。
	ほんがよみたいな	読みたい本を探して読み、読書を楽しむ。	気に入った本のおもしろさを友達に話す。 気に入った本を自分で読む。
	みんなにしらせよう かんじのはなし かぞえうた かずをあらわすかんじ	生活の中の出来事を絵と文で表現する。 漢字に対する興味・関心を持ち、漢字を正しく読み書きする。	知らせたいことを絵と文でかく。 形象、指事
後期	一 おはなしだいすき サラダでげんき	人物の登場する順序に注意してお話の展開を読み取るとともに、読んだ本のおもしろかったところを紹介する。	人物の登場する順序に気をつけて読む。 いろいろな物語を読んで紹介する。(読書)
	ことばあそびうたをつくろう	言葉遊びうたのおもしろさを知り、自分で考えて書く。	言葉遊びの文を作る。
	二 のりものことをしらせよう いろいろなふね	説明文を正しく読み取り、興味のある乗り物を調べて発表する。	順序に従って正しく内容を読み取る。 他の乗り物について、本を読んで調べる。
	三 ようすをおもいうかべながら おとうとねずみチロ	登場人物の様子を思いうかべながら読む。	場面の様子や人物の気持ちを思いうかべながら読む。
	かたかなをかきましよう/ことばのひろば	片仮名の書き方を理解し、片仮名表記をする言葉を集めて書く。	片仮名の表記

後期	四 よく見てかこう わたしのはっけん	身の回りの生き物の様子をよく見て文章を書く。	身の回りにいる生き物の様子を観察して文章を書く。
	よう日のかん字をおぼえましょ う/ことばのひろば	曜日の漢字、日付の呼び方を理解し、正しく読み書きする。	曜日や日付を表す漢字
	五 いろいろなじゃんけんについ てはなしあおう じゃんけん	じゃんけんの仕組みを読み取り、いろいろなやり方や仕組みについて話し合う。	じゃんけんの仕組みや、新しく考えたじゃんけんについて対話をする。
	なんのなかまでしょう/ことば のひろば	仲間になる言葉を集め、それらをまとめて呼ぶ言葉について理解する。	上位語、下位語
	六 おはなしをたのしもう はるのゆきだるま	様子を想像しながらお話を読み、劇や音読で表現することができる。	場面の様子や気持ちを思いうかべながら読む。 物語の季節に関連した本を読む。(読書)
	かたちに気をつけてかきましょ う/ことばのひろば	字形の似ている漢字を区別して正しく読み書きする。	字形の類似した漢字
	七 すきな本のことをかこう 本ともたち	いろいろの本を読み、好きな本を絵や文を使って紹介する。	好きな本について、視写したり感想を書いたりする。

評価の観点・方法

<p>(1) 評価の観点</p> <p>【国語への関心・意欲・態度】 国語に対する関心をもち、話し合ったり、楽しく書いたり、楽しんで読書したりしようとする。</p> <p>【話す・聞く能力】 相手に応じ、経験した事などについて事柄の順序を考えながら話したり、大事な事を落とさないで聞いたりする。</p> <p>【書く能力】 経験した事や想像した事などについて、順序が分かるように、語や文に注意して文や文章を書く。</p> <p>【読む能力】 書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付きながら読む。</p> <p>【言語についての知識・理解・技能】 音声、文字、語句、文や文章、言葉遣いなどの国語について基礎的な事項について理解している。</p>	<p>(2) 評価の方法</p> <p>ペーパーテストだけでなく、発表の様子、ノート、作文、ワークシート、疑問、願いなど、様々な面から評価します。 話し合い活動、劇、紙芝居、音読などの表現活動では、自己評価・相互評価を取り入れ内容の充実を図ります。 一人一人の学習状況に応じて、励ましたり、ほめたりする評価を繰り返し行います。</p>
--	---

特色ある学習方法

<p>(1) しりとり、言葉遊びなどのゲーム的な要素を取り入れ、楽しみながら学習をします。</p> <p>(2) 図書室を利用したり、読み聞かせをしたりして読書への関心を高めます。</p> <p>(3) 班や目的に応じたグループを構成し、話し合い活動や表現活動などに生かします。</p> <p>(4) 基礎・基本を大切に、文字指導、音読、話し方など繰り返し学習します。</p>
--

使用教材等

<p>教科書「新しい国語 1年」(東京書籍)</p> <p>ひらがなプリントを使用し、ファイルなどにとじます。</p> <p>漢字ドリルを使用します。</p> <p>鉛筆は、Bより濃いものを使います。</p>
--

留意事項

<p>(1) 家庭での音読にご協力をお願いします。 文章を正しくすらすら読めることは、内容理解につながります。音読カードを持たせますので、家庭での音読の様子を記入し、励ましていただくようお願いいたします。</p> <p>(2) ノートや課題プリントなど、少し気をつけて目を通していただくようお願いいたします。 1年生の国語科の学習は、これからの学習の基礎となるものばかりです。間違えたら直し、やりきる、丁寧に書くなど、この時期にしっかり定着させるためにも、家庭での協力をお願いします。</p> <p>(3) 家庭での読書をお勧めします。 読書は、思考力を深めたり根拠を育てたりします。1年生のこの時期は、簡単な読み物でよいと思います。また、おうちの方が本を読んであげるのも効果的でしょう。</p> <p>(4) 国語・あのねノートなどのノート類は、はじめは学校で用意します。その後はご家庭で同じマス目のノートをご用意ください。</p>
